

ふじみ議会だより

住民参加の新しい形態を

三井幹人 議員



られたので有機的に対策をたてる。インフラ整備では、光ファイバー網計画を進めおり、町内約40箇所にターミナルを置く予定。優遇税制は考えていない。

問

問・三井幹人議員
パノラマの営業状態は。

答・矢嶋町長
8月末で前年比8%減。

職員提案の11部門からなる新規プロジェクトをスタートした。

問

公共施設の耐震診断は。

答・小松教育長
富士見小で今年実施する。

落合小と本郷小を平成16年度から実施する予定。その他は町の全体計画の中で行いたい。

問

少子化対策として産業活性化があるが。

答・町長
次世代支援対策法が7月に成立し、国・地方・企業

・公共団体などは義務づけ

・パノラマなどで実施している。

問

任意協議会の新市建設計画案が出たが、町の要求が通ったか。地域局の役割・权限・分権型の寿命は。

答・町長
約100項目のすり合わせをし、ほぼ町の要求が通った。とくに分権型に活路を見い出した。いつまで地域局を存続させか不明だが、職員が地域局にいることが大事で、現在のほとんどが残ることになる。庁舎は最後まで残す。局が形だけのものになるなら異を唱える。

財政計画などは、今後できる予定の法定合併協議会で具体的に決定される。今は具体策はない。



マウンテンバイクを楽しむ人達の車がギッシリ

問：五味 滋議員

町の50年の歩みを
映像記録に

五味 滋 議員

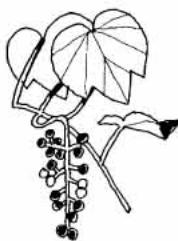
歩みについて、映像記録を企画として立ち上げ、町の文化事業の一環として残す考えは。合併がさけばれること中、ぜひとも必要なことと思われるが。

答・矢嶋町長

作ることについてはお受けする。どういうふうに作るかについては、これから段取りをさせていただきました



昭和30年代、池袋区季節保育所の様子（武藤盈氏提供）



おっしゃる通りだと受け止めている。
答・町長

問

せつからく作るのだからプロの力を借りて、200年後にも評価の頂けるものを作るべきだ。記録なので、正確にきちんととしたものを作つて欲しい。

おっしゃる通りだと受け止めている。
答・町長